

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

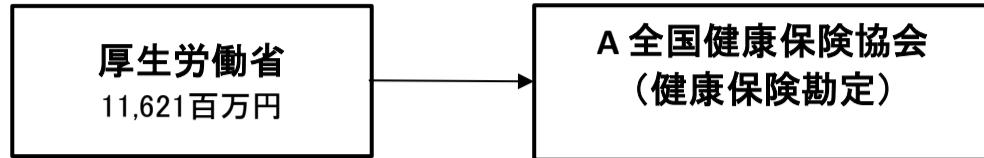
事業名	全国健康保険協会事務費負担金	担当部局庁	保険局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～	担当課室	保険課全国健康保険協会管理室	後藤 利美			
会計区分	一般会計	施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法第151条、船員保険法第112条	関係する計画、通知等	平成23年度全国健康保険協会保険給付費等国庫補助(負担)金交付要綱 (平成23年3月30日厚生労働省発保0330第4号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	健康保険事業及び船員保険事業の事務の執行に要する費用を負担することにより、全国健康保険協会の円滑な事業運営に資する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①全国健康保険協会の健康保険事業の事務の執行に要する費用の負担金 ・全国健康保険協会の認可予算額(健康保険勘定)のうち、一般管理費(人件費・一般事務経費)に要する費用を負担 ②全国健康保険協会の船員保険事業の事務の執行に要する費用の負担金 ・全国健康保険協会の認可予算額(船員保険勘定)のうち、一般管理費(人件費・一般事務経費)に要する費用を負担 ③退職手当引当金 ・旧社会保険庁から移行した職員の公務員期間に係る退職金相当額の引当金						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	6,176	12,211	12,305	10,336	9,302
		補正予算					
		繰越し等					
		計	6,176	12,211	12,305	10,336	9,302
		執行額	6,176	12,211	12,305		
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	事務負担の軽減が目標となっているため、年度ごとの補助金の対象経費の実績額を計上することとします。	成果実績	百万円	11,734	24,922	23,890	27,630
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	事務費負担金であるため、一律に数値的な成果がでるものではない。	活動実績(当初見込み)	-	-	-	-	-
			-	-	(-)	(-)	
単位当たりコスト	23,890(百万円/年)	算出根拠	負担金の対象となる経費の額をコストと捉えるならば、22年度実績の数値は左記のようになる。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	全国健康保険協会事務費負担金	10,336	9,302	業務経費等の見直しによる減			
	計	10,336	9,302				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>負担金の交付先である全国健康保険協会においては、毎年前年の水準を下回ることを目標に一般事務経費の削減を行っている。それに合わせ、事務費負担金の交付額についても、独立行政法人の経費削減方針に倣い、毎年削減を行っている。</p> <p>前記の執行実績について、20年度を21年度が上回っているのは、20年度は10月から半年間の執行に要するものであったためであり、21年度を22年度が上回っているのは船員保険事業に係る事務費負担が22年1月から新たに生じたためであり、単純に増加しているわけではない。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、管理コストの見直し等引き続き効率化に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>業務経費等の見直し(反映額: ▲1,034百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>－</p>			

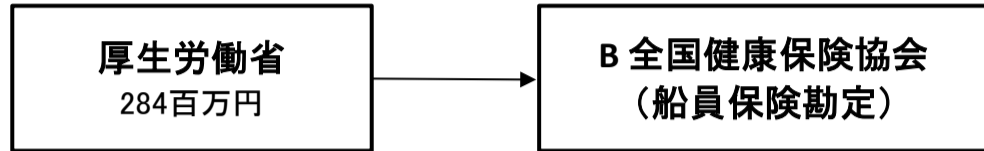
※平成22年度実績を記入

平成22年度実績

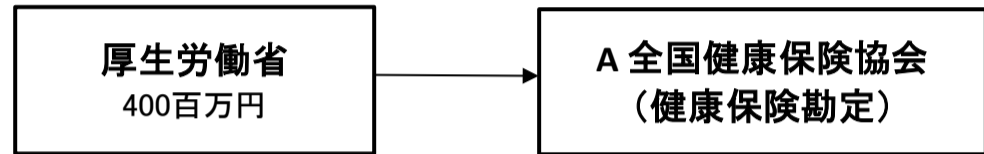
①健康保険事業事務費負担金



②船員保険事業事務費負担金



③退職手当引当金



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.全国健康保険協会(健康保険勘定)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	協会の役員、職員等に係る給与等	11,621			
一般事務経費	委託費(システム保守等)、リース費用(ハードウェア・ソフトウェア等)等				
退職手当引当金	平成20年10月に旧社会保険庁から採用された職員に係る公務員時代の退職金相当額の引当金	400			
計		12,021	計		0
B.全国健康保険協会(船員保険勘定)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	協会の役員、職員等に係る給与等	284			
一般事務経費	委託費(システム保守等)、リース費用(ハードウェア・ソフトウェア等)等				
計		284	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国健康保険協会(健康保険勘定)	全国健康保険協会管掌健康保険事業を行う	12,021	-	-
2	全国健康保険協会(船員保険勘定)	船員保険事業を行う	284	-	-
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					